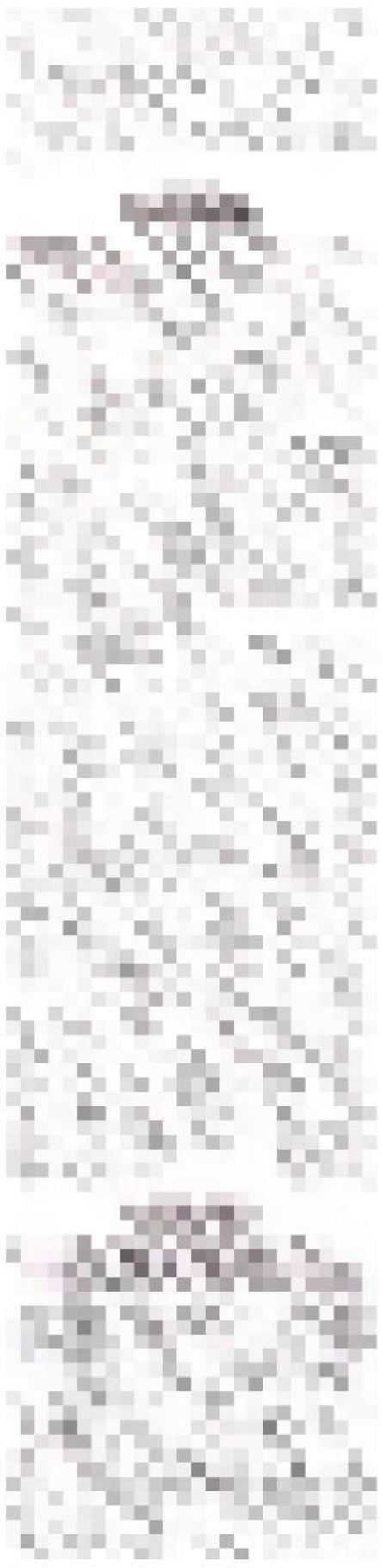
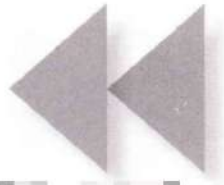


Scramble Shot



news

ビニャミーニがデトロイト交響楽団の音楽監督に

ローマ歌劇場《椿姫》などで日本でも知られるようになったヤデル・ビニャミーニが、来シーズンからデトロイト交響楽団の新音楽監督に就任することが、1月22日正式に発表された。ビニャミーニは2018年6月、現在の音楽監督であるレナード・スラットキンの代役としてブッチーニ《トゥーランドット》を指揮して同響にデビューしたあと、2019年10月にはマーラー「交響曲第4番」、1月24～26日はパガニーニ「ヴァイオリン協奏曲第1番」とベルリオーズ《幻想交響曲》を指揮した。

「デトロイト響は100年の歴史と一流の音色を持つだけでなく、柔軟性とリラックス感も特別です。音響が抜群な2200席のホールと熱い聴衆に支えられ、交響曲から現代作曲家の作品までこなす実力を持っているため、共演したソリストは再共演を望んでくれます。12月にベートーヴェン《第九》で始まる6年間、ジャズも含めたプログラムで、より強固な絆を築けるでしょう」と喜びを語った。

(中東生)



デトロイト響の新音楽監督に就任することになったビニャミーニ

